市長提案説明 令和7年第1回(6月)定例会

〈6月16日(月)〉

議員の皆様には、6月定例会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

本年度、本市は、御調町、向島町、因島市、瀬戸田町との合併 20年の節目の年を迎えることとなりました。

この節目を、尾道の新たな発展に向けたステップの年と位置づけ、様々な取組を「さくら尾道プロジェクト」と表現し進めております。

この節目を記念したロゴマークを掲げて開催した「尾道みなと祭」は、市民が一体となって盛大に開催されました。

各地域の幼稚園、小学校、中学校、高校など、子どもたちの笑顔に力強い尾道の未来を感じることができました。

今後も、「こどもまんなか尾道」をスローガンに、様々な取組を行うことで、未来を担う子どもたちの成長につなげていきたいと考えております。

本市の基幹産業である造船・船用工業等を中心とした海事産業においては、中期的な受注量は確保しており、今後とも安定的な経営が見込めると伺っております。

また、観光面においては、令和6年度の千光寺山ロープウェイ乗客数は、過去最多約51万人を記録しました。

観光客数も、コロナ禍前の水準を取り戻してきており、こうしたことが多様な宿泊施設の整備や民間事業者の新規開業など、民間投資の促進につながっていると考えております。

引き続き、市民の皆様の生活が豊かになるよう、産業の振興を最優先で取り組んでまいります。

さらに、本年度は、令和9年度からの新たな尾道市総合計画の策定に向けて着手したところでございます。人口減少や少子高齢化など、社会が大きく変化する中においても、すべての市民の皆様が心身ともに健やかに、人とのつながりの中で幸せを感じながら暮らし続けることができるまちでありたいと考えております。

市民の皆様とともに、尾道の将来像を展望し、未来への希望を持っていただけるような計画を作ってまいります。

議員の皆様をはじめ、市民の皆様、関係団体の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、御提案いたしております諸案件につきまして、総合的な説明を申し上げます。

まず、一般会計の補正予算案でございますが、主な内容としましては、当初予算編成時以降に詳細が明らかになった国庫補助事業など、当初予算編成時には見通せなかった内容等について、補正をお願いしております。

主な事業としまして、テレビ受信設備を有する公用車等において、放送受信契約の未契約が確認されたため、過年度分を含むNHK視聴料と、受信設備撤去のための手数料を追加するほか、子どもの学び舎 向島リーフで使用する送迎用自動車の購入費、生活保護システム改修委託料、串浜漁港海岸保全施設整備事業、因島水軍城の駐車場・公衆用トイレ等の解体撤去等委託料、旧因島学校給食共同調理場解体撤去事業、尾道市歴史文化まちづくり推進協議会負担金の追加などをお願いしております。

続いて、歳入でございますが、国庫支出金、諸収入を追加し、財政調整基金繰入金を追加で全体調整を行っております。

その他、「市道路線の認定について」や、「財産の取得について」などの議案を提出しております。

詳細につきましては、それぞれの担当部長から説明をさせますので、よろしく御審議の上、御承認を賜われますようお願い申し上げます。

以上をもちまして市長の提案説明とします。

〈6月18日(水)〉

それでは、追加提案をさせていただき、議案第90号一般会計補正予算 第2号について、ご説明申し上げます。

このたびの補正は、5月27日の閣議におきまして、令和7年度の予備費を活用し、国による電気・ガス料金の負担軽減事業や、地域の実情に応じて生活者・事業者を支援するための「物価高騰対応 重点支援 地方創生臨時交付金」の交付が決定されたことを踏まえ、本市におきまして、物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援する事業を早期に実施するため、補正をお願いするものでございます。

民生費では、障害者福祉事業所・介護サービス事業所等で提供する食事の食材費高騰分の支援事業や、地域密着型フードパントリーの運営体制を強化するための補助金の追加をお願いしております。

商工費では、LPガスを使用する中小企業者等に対する支援事業の追加をお願いしております。

財源といたしましては、国庫支出金を追加し、財政調整基金繰入金の追加で全体調整を行っております。

ご審議の上、ご決定を賜りますようお願いを申し上げます、提案説明とさせていただきます。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。